性感染症に関する豆知識③　梅毒編

●梅毒の原因は梅毒トレポネーマという病原菌です。病名は症状にみられる赤い発疹が楊梅（ヤマモモ）に似ていることに由来しています。

●性行為で粘膜や皮膚の小さな傷口から感染します。コンドームはあまり効果がありません。

●男女とも同じ症状です。感染して１ヶ月後に性器・口・肛門などにできものなどができますが、痛みやかゆみはなく自然に消えてしまいます。

●約３ヶ月後に全身にじんましんのような赤い発疹がでます。この時期には必ず気づいて受診しましょう。放っておくと全身の器官がおかされます。

●相談する場所は、男女とも皮膚科。女子は産婦人科、男子は泌尿器科でもいいです。よく効く薬があるので治療すればちゃんと治ります。